

令和３年度における糸満市の温室効果ガス排出状況について

令和３年度の糸満市における温室効果ガス（CO₂）の年間排出量は前年度より約 7.2 %（8,08.5 t）減少し、10,355.5 t でした。

令和３年度の温室効果ガスの総排出量は 10,355.5 t - CO₂

詳細は以下のとおりです。

令和３年度 糸満市温室効果ガス排出量（排出要因別）

	排出要因		排出量 (t-CO ₂)	割合 (%)
施設	CO ₂	電力	8,907.1	86.0%
		ガソリン(公用車以外)	1.4	0.0%
		灯油	5.0	0.0%
		軽油(公用車以外)	0.5	0.0%
		A重油	228.2	2.2%
		液化石油ガス(LPG)(公用車以外)	675.6	6.5%
		都市ガス	0.0	0.0%
	CH ₄	125.8	1.2%	
	N ₂ O	233.9	2.3%	
	小計		10,177.5	98.3%
車両	CO ₂	ガソリン(公用車)	121.5	1.2%
		軽油(公用車)	50.4	0.5%
	CH ₄	0.3	0.0%	
	N ₂ O	4.9	0.0%	
	HFC	0.9	0.0%	
	小計		178.0	1.7%
	施設 + 車両	CO ₂ 合計		9,989.7
CH ₄ 合計		126.1	1.2%	
N ₂ O合計		238.8	2.3%	
HFC合計		0.9	0.0%	
合計			10,355.5	100.0%

※ 掲載値は小数点未満を概数処理(四捨五入)しているため、合計や割合が一致しない場合があります。

・温室効果ガス種別で見ると、温室効果ガス排出量の大部分はCO₂（9,989.7 t-CO₂）であり、全体の 96.5 %を占めていました。CO₂以外では、CH₄（126.1 t-CO₂）、N₂O（238.8 t-CO₂）、HFC（0.9 t-CO₂）を合わせて 3.5 %でした。

施設別及び車両別で見ると、施設からの排出量は 10,177.5 t-CO₂ であり、全体の 98.3 %でし

た。車両からの排出量は 178.0 t-CO₂ で、全体の 1.7 %でした。

エネルギー種別にみると、電力の使用による排出量が 8,907.1 t-CO₂ と最も多く、全体の 86.0 % を占めていました。以下、LPG（公用車以外）、A 重油、ガソリン（公用車）、軽油（公用車）の順でした。

令和 3 年度 糸満市温室効果ガス排出量（組織別）

組織			CO ₂ (t)	CH ₄ (kg)	CO ₂ 換算(t)	N ₂ O(kg)	CO ₂ 換算(t)	HFC(kg)	CO2換算(t)	CO ₂ 換算総計(t)	構成比
市長部局	庁舎	施設	937.7	0.0	0.0	0.0	0.0			937.7	9.1%
		車両	83.0	4.2	0.1	8.8	2.6	0.3	0.4	86.2	0.8%
		合計	1,020.7	4.2	0.1	8.8	2.6	0.3	0.4	1,023.9	9.9%
	市長部局出先	施設	162.5	0.0	0.0	0.0	0.0			162.5	1.6%
		車両	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
		合計	162.5	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	162.5	1.6%
	保育所・児童館	施設	230.0	235.4	5.9	7.7	2.3			238.2	2.3%
		車両	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0%
		合計	230.5	235.4	5.9	7.8	2.3	0.0	0.0	238.7	2.3%
	消防本部	施設	92.4	0.0	0.0	0.0	0.0			92.4	0.9%
		車両	44.5	2.4	0.1	2.6	0.8	0.0	0.0	45.3	0.4%
		合計	136.9	2.4	0.1	2.6	0.8	0.0	0.0	137.7	1.3%
	観光施設	施設	397.8	0.0	0.0	0.0	0.0			397.8	3.8%
		車両	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0%
		合計	398.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	398.3	3.8%
	地下ダム	施設	1,340.7	0.0	0.0	0.0	0.0			1,340.7	12.9%
		車両	2.8	0.4	0.0	0.6	0.2	0.0	0.0	3.0	0.0%
		合計	1,343.5	0.4	0.0	0.6	0.2	0.0	0.0	1,343.7	13.0%
	運動公園	施設	519.7	0.0	0.0	0.0	0.0			519.7	5.0%
		車両	17.7	1.3	0.0	1.6	0.5	0.0	0.0	18.2	0.2%
		合計	537.4	1.3	0.0	1.6	0.5	0.0	0.0	537.9	5.2%
	各種公園	施設	131.2	0.0	0.0	0.0	0.0			131.2	1.3%
		車両									0.0%
		合計	131.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	131.2	1.3%
	市長部局合計			3,961.0	243.7	6.1	39.1	6.4	0.3	0.4	3,974.0
教育委員会	小中学校	施設	2,552.5	663.8	16.6	25.9	7.7			2,576.8	24.9%
		車両	11.7	0.8	0.0	1.5	0.4	0.3	0.4	12.6	0.1%
		合計	2,564.2	664.6	16.6	27.4	8.2	0.3	0.4	2,589.4	25.0%
	教育委員会出先	施設	520.5	0.0	0.0	0.0	0.0			520.5	5.0%
		車両	5.1	0.2	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	5.2	0.1%
		合計	525.6	0.2	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	525.7	5.1%
教育委員会合計			3,089.8	664.8	16.6	27.8	8.3	0.3	0.4	3,115.1	30.1%
水道局	上下水道施設	施設	2,932.8	4,132.1	103.3	751.3	223.9			3,260.0	31.5%
		車両	6.1	0.5	0.0	1.0	0.3	0.0	0.0	6.4	0.1%
		合計	2,938.9	4,132.6	103.3	752.3	224.2	0.0	0.0	3,266.4	31.5%
合 計		施設	9,817.8	5,031.3	125.8	784.9	233.9			10,177.5	98.3%
		車両	171.9	9.8	0.2	16.7	5.0	0.6	0.9	178.0	1.7%
		全体	9,989.7	5,041.1	126.0	801.6	238.9	0.6	0.9	10,355.5	100.0%

※ 掲載値は小数点未満を概数処理(四捨五入)しているため、合計や割合が一致しない場合があります。

組織別に見ると、市長部局が 3,974.0 t-CO₂（全体の 38.4 %）、教育委員会が 3,115.1t-CO₂（全体の 30.1 %）、水道局が 3,266.4 t-CO₂（全体の 31.5 %）でした。

各組織の排出量の内訳をみると、市長部局では地下ダムの 1,343.7 t-CO₂、庁舎の 1,023.9 t-CO₂、

運動公園の 537.9 t-CO₂、が上位となりました。教育委員会では小中学校の 2,589.4 t-CO₂が教育委員会全体の 83.1 %を占めていました。